

んはアンテナショップということで高円寺のほうに設けられているんですが、アンテナショップの性格はまたちょっと別だと思っていますけれども、長井市の東京事務所ということですが、通常は市の職員を最低1人とか2人派遣して、そちらで例えば営業活動、長井市のPRとか企業のほうに訪問したりとか、あるいは国や都とか区とかに行っているような活動をするということなんですけども、私の判断としては、26年度からそれはちょっと難しいだろうという判断で、まずその最初の根回しを地元の以前からお世話になっている櫻井顧問をお願いして、シティプロモーションという形でマネジャーとして就任いただこうと。櫻井さんから推薦いただいて優秀な方々をお二人紹介いただいて、まずは長井市内で市民の皆様いろいろな形で長井市のよさをもう一度再確認していただいて、市民のほうから自主的に首都圏にさまざまな事業を展開されるような方々を発掘してもらおうと。同時に、首都圏から見た長井のよさを磨いていこうということで、このシティプロモーションを2年間するというので、ちょっと2年目は、だから1年はしてもらえるんですが、2年目はなかなか難しかったそうなんです。でも、2年目も何とかお認めいただきましたので、今年度まではそれを中心やって、来年、28年度以降はいよいよ櫻井さんに加えて市のほうからも積極的に職員を派遣するなりしていきたいと。

ただ、現在は首都圏は内閣府のほうに職員を派遣しておりますので、それは若手の職員やっているんですが、東京事務所のほうはある程度中堅どころをやらなきゃいけないだろうということで、人選も含めて、あと首都圏に在住の長井出身者、長井のファンの人をどういうふうにして、何ていうんでしょうかね、力を結集して、長井のために力になっていただけるか。それらを課題として、28年度以降、さらに首都圏、それから首都圏から我々長井の受け皿等々のため

に頑張っていくような体制をとっていきたいと思っていますところでございます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** ありがとうございます。東京事務所も、シティプロモーションも、ぜひうまくいくように願って、質問を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

鈴木富美子議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 次に、順位4番、議席番号6番、鈴木富美子議員。

(6番鈴木富美子議員登壇)

○**6番 鈴木富美子議員** 私は、このたびの選挙で初当選をさせていただきました鈴木富美子と申します。女性の視点を生かし、皆様とともに、今後の長井市の発展に貢献したいと存じております。初めての議場なので、心臓がばくばくしていますが、最後までどうぞよろしく申し上げます。

項目の1番につきまして、長井市スポーツ振興策に関して質問させていただきます。

長井市では、市民1人1スポーツを奨励しているわけですが、私は健康寿命を延ばす意味でも、総合型スポーツクラブに期待するものは大きいものがあると思います。

そこで、長井花のまちスポーツクラブについてお伺いいたします。

ことしで設立して3年、現在はtotoの助成と市の一部負担によって運営されていると思いますが、このtotoの助成はいつ打ち切りになるのでしょうか。また、補助金が打ち切りになってからの運営についてはどのように考えておられるのでしょうか。教育長にお伺いいたします。

市内にはもう一つの総合型スポーツクラブがあります。皆様もご存じでしょうが、西根とき

めきスポーツクラブという名称で、8年前に設立いたしました。現在の運営は、西根地区民944世帯より1件当たり300円のご負担をいただいております。また、クラブ会員は年間300円の会費となっております。そうすると、ほとんどはボランティアのみのクラブ運営、人員配置となっております。これで健全な運営なのか、疑問に感じているところがございます。

市当局としては、スポーツを奨励しているにもかかわらず、施設の充実もない中、2つのスポーツクラブをどのように考えておられるのか、教育長にお伺いしたいと思います。

スポーツ振興策に関しての2つ目の質問をさせていただきます。

河川敷地スポーツ公園の、清水町にあります野川河川敷のパークゴルフ場についてお伺いたします。

今現在、長井市パークゴルフ協会の会員が157名おられるそうです。このパークゴルフ場は野川の川沿いにあり、風がとても爽やかで芝も良好、評判も大変よいと聞いております。

運営者団体の役員や会員の努力で、年間、といっても冬がありますので8カ月間の入場者につきましても、整備完成の年の23年は約2,000人、昨年の26年は約9,500人、ことしは雪解けが早かったせいもあり、約1万人を超える予定の見通しがあると聞いております。

また、年間約20回の公式大会もあり、その中には長井市長杯もあります。そこには市内はもちろんのこと、県内外の選手もおいでになり、まさしく年代を超え、また観光交流の役割も果たしていて大変素晴らしいことだと思っております。

ところが、残念なことに、敷地内にあるトイレが仮設であり、しかも和式。足、膝の悪い方にはとても大変ですし、狭いこともありまして、県外からいらっしゃっている選手の方の着がえをなさる方にはとても不親切ではないでしょう

か。河川敷地の制約があることは存じておりますが、ぜひこのようなことを改善していただき、前向きなお考えをお聞かせいただきたいと思います。

また、事務所も狭く、不便を来しているようです。パークゴルフ場の運営は指定管理者であります。トイレと事務所の整備について前向きに考えていただきますよう、生涯スポーツ課長にお伺いたします。

続いて、2番目ですが、市民サービス向上のための庁舎の整備についてお伺いたします。

先月、本庁舎の耐震工事も終わり、安心して仕事や市民をお迎えできるようになりました。以前にも質問があったと思いますが、本庁舎女子トイレの整備はできないでしょうか。1階のトイレは一部整備されましたが、2階、3階はまだ和式であり、かばんを置く取っ手もなく、とても不便だと思います。ぜひ洋式に整備していただき、またトイレや手洗い所にはかばんを置く台やかけるフックなどをご検討していただきたいと思っております。

次に、エアコンの整備についてお伺いたします。

エアコン整備には膨大な費用がかかることは承知しておりますが、職員が効率のよい仕事をするによりまして、よりよい市民サービスが向上すると私は思います。そのために、ぜひエアコン設備が必要かと思われまます。本庁舎の耐震工事も終了いたしましたので、エアコン整備等について市長の考えをお聞かせいただきたいと思います。

また、もう一つの整備についてですが、本庁舎の1階のカウンターが高く、廊下より職場の床が高いために職員の視線が高く、何となく市民にとっては話しづらいところがあります。カウンターの件についても市長さんにお伺いたします。

3番目、障害者に優しいまちづくりの一つと

して、花作町にあるすみれ学園についてお伺いいたします。

これまでの障害者施設であります、すみれ学園の経緯と利用者の推移についてお聞かせいただきたいと存じます。

利用者がふえているとお聞きしておりますが、この施設は耐震化されておらず、大変危険だと思っております。早急な耐震化、あるいは移転などの対応が必要かと思われませんが、対策はと考えてでしょうか。子育て推進課長にお伺いいたします。

以上をもちまして、壇上からの私の質問を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございます。（拍手）

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 鈴木富美子議員のご質問にお答えいたします。初めての質問ということでございますが、3点ほどご質問いただいて、私のほうからは、2点目の市民サービス向上のためにということでのご質問にお答え申し上げたいと思います。

鈴木議員からは、特に不便を来している市役所の本庁舎をいろいろ改善しなきゃいけないんじゃないかというご提言でございますが、特に庁舎内では、1階のトイレは5年ほど前に少し直したんですが、2階、3階のトイレはそのままですし、あとエアコンがほとんど入っていないと。議長室と応接室と市長室しか入っておりませんので、そういった意味では、あと市民相談センターですね。一般の職員、あるいは用事があって来られた、本庁舎に来られた方について、あと第2庁舎ですね。非常に夏は不快な思いをされているということだと思います。

まず、市全体の整備が必要と思われる、特に大きな工事については、4点ほどございます。市役所の庁舎でございますが、これは財政の中期展望でも上げさせていただいていますが、新築で40億円ということで見えております。それか

ら、26年度末、この3月に報告をいただきました文化会館の検討委員会では、新築が望ましいということで50億円、それからこれはまだ答申等はいただいているんですが、老朽化している長井病院、これらについても、昭和46年、48年ごろの建物でございますので、これも新築改築しかないだろうと。そうした場合、かなり金額は、その具体的な数字はございませんが、やっぱり数十億円かかることは明らかです。

あともう一つは、市民の皆様から、あるいは子育て世代から非常に要望の多い多機能型図書館、子育て支援センター、老人福祉センター、そして屋内型の子供の遊び場と軽スポーツ施設、これらについては地域再生計画の中でぜひ組み立てたいと思っておりますが、これらについても20億円から30億円ぐらいの事業費がかかるのではないかというふうに思っているところです。そうしますと、大きいものだけでもやっぱり150億円、200億円ということがもう喫緊の課題になっております。加えて、小・中学校の耐震化全て終わっておりますが、最後に長井小学校の第1校舎、本校舎は、免震工事ということでことしからかかって、2年間で約4億円で、これは補助を受けてやるわけですが、なおかつ中学校を含めた、小学校、中学校まだ大規模改修が少し残っております。あとはスポーツ施設の長寿命化等々の事業が残っております。

そんな中で、庁舎をどうするかということですが、去年、おとし、2年をかけましてじっくりといろんな方面で、庁内でまずは検討したところでございます。26年度の結論といたしましては、まず今、市役所は7カ所に分かれております。非常に効率が悪くて、市民の皆様もいろんなところに出かけなきゃいけないと非常に不便だということから、まず最優先にしなきゃいけないと思っております、本庁舎を残して、第2庁舎を取り壊してですね、もう一つ第2庁舎をつくって、その2つで行うというのが一つ

の案であります。あともう一つは、全く新たな場所に新築する。この2つの案で今年度中にまずは内部で固めて、後半になりますが、市民の代表の方にもご審議いただいて方向性を定めたいと。当然、その中には議会からもご意見をいただいて決定したいというふうに思っております。

ただ、役所については、補助事業というのがございませんので、例えば40億円、新築の場合ですと40億円かかりますが、40億円を全部自前のお金でしなきゃいけないということから、去年も議会でいろいろ質問等がありましたが、例えばこの鈴木富美子議員の前の宇津木議員の際にも、地方創生の中で、いわゆる健康なお年寄りの受け入れ先として日本版CCRCというのがあるんですが、それを受け入れるときに、例えばの話ですが、PFIってあるんですね。いわゆる民間の資金、あとノウハウで、役所とそういう施設を一緒に建てるというやり方なんです。例えば最近ですと、東京の豊島区で建てました。50階建ての高層ビル。9階までが区役所で、10階から49階までがマンションということで、区役所は豊島区は一銭もお金払っていない。ただ、土地は豊島区の土地だということで、これはPFIみたいなのが成立するんですね。ですから、そういった手法もあるということも含めて、今年度中に方向性を出して審議をいただこうというふうに考えているところです。

したがって、そうしますと、例えば最短ですと今年度中に方向を固めて、来年基本設計から実施設計のところまで手続踏みますと、実施設計でことし1年かかると。来年以降、2年後に全部実施設計できますと、そこから工事となりますので、やっぱり最短でも4年から5年かかるんですが、そういったときに、じゃ、庁内のエアコンを今やっていいのかという判断なんです。これは今泉議員のご質問でもお答えしたんですが、冷水器。確かにこれは冷たい水

をそれは提供したほうがいいに決まっているんです。ただし、工事までしてそれをするというのはどうだろうということで、ちょっとここ二、三年のところ庁舎のことで少し歩みが遅くなっていますので、ことしはもういろいろご意見はあるかと思いますが、ひとつ庁舎をどうするかということ意見を大体集約して、来年からさまざまな今後の取り組みについて着手してまいりたいと。もし新築じゃなくて本庁舎を残すということであれば、エアコンの設置については電気設備で大体1億円、それからエアコン設置で1億円で2億円ぐらいかかるというふうに見ております。それから、トイレ等々については、ちょっと狭いんですが、恐らく3,000万円ぐらいで全部できるのではないかなというふうに思っておりますので、あと、ただし1階のその市民課とか福祉関係のカウンターというのは、もともとがそういうコンクリートの設計なんです。あと、市民課の職員側の席と子育て推進課、福祉あんしん課のところは、実は床がちょっと斜めっております、もう何しろ60年近い建物なものですから、もうこれを水平にこれを使うとしたらやっぱり直さなきゃいけないということで、これも大工事になりますので、それでもやっぱり分庁舎を建ててここを生かすとしても5年ぐらい見なきゃいけないのかなというふうに思っているところでございます。

したがって、大変ご不便をおかけいたしますけれども、ちょっとことし1年はできるだけ早目に結論つけなきゃいけないと思いますが、検討させていただくということで我慢をまず市民の皆様をお願いしてまいりたいというふうに思います。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 加藤芳秀教育長。

○**加藤芳秀教育長** 私からは、鈴木富美子議員の1番目の質問、長井市スポーツ振興策について、私のほうには、総合型スポーツクラブについてのご質問でございましたので、お答えしたいと

思います。

平成23年度にスポーツ基本法が制定され、いつでも誰でも個々の適性、能力に応じ、スポーツに親しみ、スポーツを楽しむことのできる環境を整えていくことが求められるようになりました。長井市では、この部分を担う組織として、総合型地域スポーツクラブが適しているという考え方から、長井花のまちスポーツクラブの創設に至っております。平成25年度からスポーツ振興くじ助成金を受けて取り組んでおりますが、助成の期間は5年間とされておりますので、平成29年度までとなっております。その後の運営に関しましては、組織を、例えばNPO法人化するとか等を考えまして、あるいは市内体育施設の指定管理なども視野に入れ、そして組織体制を強化していく。さらに各種スポーツ事業を受託していただいて、また自主事業なども充実を図っていただくなど、自立できるクラブ運営を目指して取り組んでまいりたいというふうに考えております。

次に、西根ときめきスポーツクラブでございますが、平成19年2月に設立されております。西根地区の皆様がスポーツに対する高い意識のもと、設立に向けていち早く取り組んでこられました総合型地域スポーツクラブであります。議員ご指摘のとおり、ボランティアに頼らざるを得ない運営状況の課題でありますとか、その他多くの課題についてもお聞きしているところでございます。

totoの補助金があったうちはよかったわけですが、その補助が切れてから、市からの支援体制、補助が本当に十分にできていなかったというのは非常に申しわけなく思っておりますし、反省しているところでございます。

今後は、花スポと、有機的な連携のもと、充実した運営ができるように改善を図っていきたいというふうに考えております。両クラブともに、施設の管理や各種スポーツ教室の充実とい

った、ハード面とソフト面の両方に工夫を凝らして、地域コミュニティーの中核となるようにしていくことが重要であるというふうに考えております。

西根ときめきスポーツクラブのよさは、地域住民全員が参画できる仕組みになっていることだというふうに思います。この取り組みを各地区にも広げながら、市全体としては花スポとの連携を強化して、各地区にスポーツ活動の拠点となるクラブを配置することで、より多くの方に参加いただけるような環境を整えていきたいというふうに考えておりますし、クラブ間の連携も一層密にして取り組むことが重要と考えております。その際には、いち早く設立した西根ときめきスポーツクラブに指導的な役割を担っていただきたいなというふうにも考えております。

両クラブに共通する課題として、クラブマネージャーの育成や、健康づくりに関する各種事業との連携などをどのようにしていくかなど、課題がたくさんございますので、これからさまざまな角度から検討してまいりたいというふうに考えております。どうぞよろしく願いいたします。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広生涯スポーツ課長。

○**佐野安広生涯スポーツ課長** 鈴木富美子議員のご質問にお答えいたします。

私のほうからは、体育施設の整備充実について、パークゴルフ場の現状についてお答えいたします。

長井市パークゴルフ場は、平成23年度のオープンから、のがわクラブを指定管理者として指定しております。入場者数も順調に伸びており、今年度は1万人の利用を見込んで取り組んでいただいているところでございます。生涯スポーツの振興に多大な貢献をいただいております、大変ありがたいことだと思っております。

のがわクラブのほうからは、毎月利用状況の

報告をいただき、ふぐあい等が生じた場合については協議して対応しているところでございます。

ご質問のトイレの件でございますけれども、現状につきましては、仮設トイレ2基で、一般的な男子用と女子用を設置してございます。そこで、問題点が、和式では不便だということであれば洋式に変えることで対応できるわけでございますけれども、数が不足する、足りないということであれば、増設することになりますので、その際は河川管理者のほうに占用許可を受けている内容の変更ということで申請をいたしまして許可を受ける必要があるというふうになってきます。さらに、仮設でないトイレの設置というふうになりますと、現実的には河川敷地内への設置というのは難しくなりますので、堤防の住宅地側になるというふうに考えております。それで、どのようにすれば設置できるかということにつきまして関係各課と調整いたしまして検討してまいりたいというふうに考えてございます。

事務所のほうにつきましても同様な制限がございますので、許可を得てから仮設の増設になるのかなというふうに考えてございます。

トイレ、事務所ともに具体的に進めるに当たりましては問題点を整理いたしまして、のがわクラブ初め、関係団体と協議をして対応策を検討してまいりたいというふうに考えてございます。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 松木 満子育て推進課長。

○**松木 満子育て推進課長** 鈴木富美子議員の質問にお答えをしたいと思います。

私には、障害者に優しいまちづくりについてというふうなことで、すみれ学園の実情についてということで、すみれ学園の現在の状況と利用者の推移、あとは耐震化を含めた施設整備の今後の考え方というようなことでご質問を頂戴したというふうに思っております。順次お答え

をさせていただきたいと思っております。

まず、すみれ学園の現状というふうなことでございますが、現在の入園児は3歳から就学前までのお子様の5名というふうなことでございます。ダウン症や自閉症、呼吸機能障害などの症状を持つお子さんが現在入園されていません。

指導体制といたしましては、管理者が1名、あと児童発達支援管理責任者ということで1名、指導員の方が3名というふうなことで、合計5名の指導員体制で当たっていただいているというふうな状況でございます。指導員の方は、元小学校の教諭や養護教諭の方、あと保育士の方など有資格の方で、皆さん本当に献身的という言葉しか浮かばないような、一生懸命子供たちと真摯に向き合っていただけて優しく接していただいているというふうな今の状況になっております。

卒園後の進路につきましては、ここ5年を見ますと、ゆきわり学園の養護学校や米沢養護学校の2校に全員進んでおりまして、養護学校と連携をとりながら、そのお子さんに合った進路の指導ができていたというふうに認識をしております。

すみれ学園は、昭和54年に心身に障害を持つお子さんの母子通園施設として開設されました。開設当時は9名のお子さんが通園しておりましたが、昭和58年には15名の通園児がいらっしゃいましたが、徐々に少なくなりまして、ここ30年ぐらいは2名から6名の、1桁のところまで推移をしております。さらにここ10年では二、三名の入園児というふうなことでございまして、行革の中では、他市の養護施設の利用なども考えながら今後施設のあり方を検討していくというようなことになっておりました。

しかし、最近になりまして、置賜障害者就業・生活支援センターのPRや、指導員の先生方による子供たちに寄り添う指導方法が評判に

なりまして、昨年から入園児がふえまして、今後この状況は変わらないというふうに考えてございます。

さらに、今年度に入りまして利用者の声に応え、一層の利便性を図りたいという指導員の先生方からの強い要望もございまして、開園日数を、今まで昨年までは月、水、金の週3日でしたが、ことし4月1日からは月曜から金曜までの5日間に拡充をして、さらにこの7月からは開園時間を従来の午前9時から午後1時までとしていたものを、午前9時から午後3時まで延長するというふうなことで現在準備をしているところでございます。

このように、利用しやすい環境を整えることによって、子育て推進課としましては今後の入園者数は増加するものというふうに考えておりますが、指導体制もさらに強化する必要性が出てくるというふうに思っているところでございますが、子供たちと保護者の皆さんの幸せのためには何が一番いいのかというふうなことを考えながら、これからもソフト、ハード、両面から考えてまいりたいというふうに思っています。

施設の耐震化というふうな部分のご質問についてでございますが、この施設につきましては、先ほど申し上げましたとおり、昭和54年に建設された平家建ての建物でございまして、床面積が132平米というふうなことで、規模が小さいこともございまして、現在市で立てております建築物の耐震改修計画の中には入ってございません。

しかしながら、この施設の老朽化、あとはやっぱりそういう耐震的なところも心配でございますし、今、床が沈むような状況もあったりして、そのようなさまざまなおとところについてどのようにしていくか、今後本当に早急に対応していく必要があるというふうに考えてございます。

このたびの補正予算でも遊戯室のほうにエアコンを設置させていただき予算を計上させてい

ただいておりますが、こういう点も含めてお子さんのためにどういう施設整備が必要なのか、早急に関係課等とも協議をしながら対応を考えてまいりたいというふうに思っております。

今後につきましては、そのような早急な対応と、あとは他の保育施設等との併設とか、いろいろどのように長期的な目では対応していったらいいかというふうなところも段階的な対応も含めて検討してまいりたいというふうに考えているところでございます。そのようなことで、この施設非常に重要な施設だというふうに考えてございますので、今後ともご指導いただければというふうに思います。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 6番、鈴木富美子議員。

○**6番 鈴木富美子議員** 最初に、市長さんには大変ありがとうございました。やはりいろんな問題がありまして、ちょっと簡単にいかないなとは思っておりましたが、相当、これで先に話が進んでいるのであれば、やはりちょっと我慢するというのも考えられますので、でも少しずつ改善されるところはやっぱりしていただきたい。せめてかばんを置く台ぐらいいは置いてほしいと思います。手をこう持ちながら手を洗ったりするのはすごく大変、職員の方はハンカチ1個でいいんですが、外部から来た人にはやはりちょっと大変かなという、ちょっとこまいことですが、そんなこともぜひ加味していただきたいと思います。ありがとうございます。

市長さんには、それに関してはいかがでしょうか。済みません。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** ただいま鈴木議員からございました、やはり外からいらっしゃる市民の皆様には、おっしゃるとおり、手洗いでなく、いろんなところでちょっとご不便をおかけしているところが多々あるかと思っております。そういったところについては、莫大なお金がかからないものもございまして、ぜひ早急に財政課、総務

課等々と検討しながら対応してまいりたいと思います。どうもご指摘ありがとうございます。

○**渋谷佐輔議長** 6番、鈴木富美子議員。

○**6番 鈴木富美子議員** 教育長さん、ありがとうございます。

ボランティア、やっぱりときめきスポーツクラブのように、やはりボランティアだけに頼る運営ではないので、totoが打ち切りになる前に、長続きするような、今からしっかりとした運営理念を立てていただいて、利用する側も、利用される側も利益になるようなクラブにしていきたいと思います。

それで、ことしより公民館にそれぞれ主事が1名ふえたことによりまして、地区民の健康増進のためにもぜひスポーツクラブの協働連携をとりたいということもありましたが、それは、そのようなことは各公民館のほうにぜひ伝えていただきたいと思いますが、そういう施策のほうはどのように考えていらっしゃいますでしょうか。具体的をお願いいたします。

○**渋谷佐輔議長** 加藤芳秀教育長。

○**加藤芳秀教育長** ありがとうございます。公民館のほうは、ことしから3期目の指定管理に入っております。この間に、3年間の中でそれぞれの公民館が自分たちの地域づくりについて考える地域づくり計画、そしてその実践へと踏み込んでいくということで、公民館という名称から、もう少し、社会教育をもちろんやり方としてはベースにはなるんだと思いますけども、コミュニティセンターというふうなことで、幅広く地域の課題に取り組んでいけるようにしていくというような形になっていく予定でございます。

そんな中に、もちろん住民の健康づくりというのが高齢化社会の中では非常に大きな課題でございますので、その中でこのスポーツクラブがしっかりと根を張って、コミセン、公民館を拠点としながら活動を充実させていくというこ

とが一層大事になってくるのではないかとというふうに考えております。

そんな中で、ぜひスポーツクラブとコミュニティセンターとの充実した関係づくりというんですかね、機能の一つとして活躍していけるといいますかね、展開していければいいなというふうに考えております。

○**渋谷佐輔議長** 6番、鈴木富美子議員。

○**6番 鈴木富美子議員** ありがとうございます。ぜひよろしく願いいたします。パークゴルフ場の件につきましてはぜひ検討いただきまして、指定管理者の方とも話し合いをしていただきまして、私個人といたしましては早急な対応が必要かと思われませんが、やはり福祉は、宮城の方もいっぱいいらっしゃいますので、長井のゴルフ場はこんなのかと言われてもちょっとこちらとしてもぐあい悪いかなどやっぱり思いますので、ぜひトイレのほうは早急に対応していただきたいと思いますが、課長、いかがですか。

○**渋谷佐輔議長** 佐野安広生涯スポーツ課長。

○**佐野安広生涯スポーツ課長** お答えいたします。

現場を見ますと、やはり、先ほど申し上げましたけれども、男性用、女性用といたしますか、大小2基でございまして、隣り合わせのところでは、許可を受けている建坪につきましても、3.数平米ということで、大変狭い敷地のところに利用しているというような現状がございますけれども、やはり男性から見ますと余り感じないかもしれませんが、余り女性のプレーヤーには優しくないトイレの配置なのかなというふうなことは感じてございますので、対応につきましては検討してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○**渋谷佐輔議長** 6番、鈴木富美子議員。

○**6番 鈴木富美子議員** ぜひよろしく願いいたします。

すみれ学園についてもう一点お聞きしたいと思います。

大変課長さんにはお優しく子育て支援のほうをさせていただいているようでございまして、親御さんもやはり一緒にいた時間がいいのか、長く預けて自分の時間をつくっていただくのがいいのかは、それは個人の問題でもあります、こういう施設があることによりまして、お互いに子供を優しく見れたりするところがあると思います。

それに関して、先ほど卒業した先の進路のことにちょっと触れられましたが、やはり長井ではその進路として遠いところに行かなくちゃいけないという現状があると思いますが、今後長井で卒業後を引き受けるというお考えはあるのかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。よろしくをお願いします。

○**渋谷佐輔議長** 松木 満子育て推進課長。

○**松木 満子育て推進課長** 卒園後ということで、小学生になっていくというようなことで、こちらの、今すみれ学園というところでの対応とか、そういうところの対応につきましては、教育委員会というか、今は米沢養護学校、ゆきわり学園しかないというふうなことで、県のほうにも従来から米沢養護学校、養護学校を長井にもというふうなお話でやっているわけですが、今のところは豊田のほうに分校いただいて出しているというふうな状況になっています。

そのような状況でございますので、ご理解をよろしくお願ひしたいというふうに思います。

○**渋谷佐輔議長** 6番、鈴木富美子議員。

○**6番 鈴木富美子議員** 済みません、これはちょっと大きな問題だと思います。やはり施設の問題もありますし、ただ、私としては、やはり遠いところにやるのはちょっとかわいそうだなという心もありましたので、ちょっとご質問させていただきました。これから長い時間をかけてましてそういう問題にも取り組んで、ぜひ、いただきたいと思います。これは市長さんかな。

どうですか。済みません。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 全体を私のほうにご質問、答弁いただいたということからでございますが、厚生参事のほうにただいまのご質問の件については答弁いたさせたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 松木幸嗣厚生参事。

○**松木幸嗣厚生参事** それでは、卒園後の進路ということで、先ほど子育て推進課長のほうからは、ゆきわりなり、養護学校というような話が出ました。

現在私どもで押さえている方、非常に重度の方のお話は、教育長のほうから承っております。非常に低体重児であるとか、食について障害のある方等々については承知しております。多分そのくらいの障害でありますと、米養というよりも、上山のほうのゆきわりとか、そういうところのほうが適切ではなからうかなというふうに思ってます。

なお、その方にとっては移動といいますか、そこまで行くのがやっぱり大変なところだと思っています。お母さんも働いていらっしゃるなどといういろいろ家庭の事情もあろうかと思いますが、ご相談申し上げて、なおその障害も非常に重いので、介助というところも含めまして、入学前までちょっと時間がありますんで、検討させていただきたいと思います。

○**渋谷佐輔議長** 6番、鈴木富美子議員。

○**6番 鈴木富美子議員** ありがとうございます。なれない質問で大変皆さんに逆にご迷惑かけました。

これをおもちまして質問を終わらせていただきます。ありがとうございます。

○**渋谷佐輔議長** ここで暫時休憩いたします。再開は3時5分といたします。